特別支援教育ミニ情報誌『ゆめハッピー通信』いろはカルタ

第３０号　Ｒ１．５　「生徒一人ひとりの能力・才能を伸ばす実践研究」推進チーム

まずは自分を知ることから

【発達障害のある高校生への進路支援】

発達障害のある高校生のうち、自信を失い将来への希望を抱けない生徒や「興味あること」と「得意なこと」を混同して、職業への具体的なイメージをもちにくい生徒がいます。そこで進路先を決める際、まずは「自分を知ること」からスタートしましょう。

❶適切な自己理解

面談や検査、インターシップの体験で自分の特性や適性を客観的に把握する

❷進路に関する情報収集

職場見学や会社説明会への参加を通して、進路情報を収集する。

❸自己実現のための目標設定

担任や保護者等と相談しながら、本人の意思にそった長期的な目標を立てる。

❹関係機関との連携

進学の場合は大学等と、就職の場合はハローワーク等の就労支援機関と連携する